

第20回 カブキ症候群集団外来

| | |
|-----|--|
| 開催日 | 令和6年7月26日(金) 13時30分～16時00分 |
| 場所 | 埼玉県立小児医療センター6階 講堂(オンライン同時開催) |
| 家族 | 現地参加: 13家族(埼玉県内 0家族、県外 13家族) オンライン参加: 6家族(埼玉県内 4家族、県外 2家族) お子さんの年齢: 1歳～31歳 |
| 支援者 | 現地参加: 作業療法士1名、オンライン参加: 言語療法士1名、作業療法士1名 |
| 内容 | 【第1部】研修会「作業療法の視点からみるお子さんの育ち」 作業療法士 岡田 洋一 【第2部】家族交流会 |



第1部 研修会

- ✿岡田洋一作業療法士より、カブキ症候群のお子さんと子育てをされている方への発達のはなしとして、①発達特性を知る ②発達課題と生活の中での支援 について情報を提供しました。
- ✿参加ご家族からいただいた質問について、岡田洋一作業療法士より回答いたしました。

第2部 家族交流会

- ✿参加者の自己紹介
 - ・「お子さんの良いところ・自慢」を含めてお話いただき、お子さんのとっておきのお写真も共有していただきました。
- ✿グループ交流会
 - ・ご家族同士で自由に交流いただき、最後に集合写真を撮りました。



<アンケートでは以下のようなコメントをいただきました>

- ✿研修会について
 - ・講演がとても勉強になり、普段意識して取り入れようと思った事がいくつかあったので、大変ありがたかったです。
 - ・我が子が小さい時にはカブキ症候群の情報が少なく、不得意なことをどう教えたらよいのか?なぜできないのか?分からず、みんなと同じようにできるようにするために必死に教えていました。カブキの子は不得意なことがあり、無理に教えるのではなく、コツを教えることで生きやすくなることがあるので、皆さんにも知っていただけたと思います。
- ✿集団外来に関して
 - ・同じ病気を持つ本人や家族との交流や、正しい知識を勉強することができ、本当に貴重なひとときと思っています。
 - ・小学生や中学生のお子さん家庭とお話しでき将来について具体的に考えることができました。

<ご参加いただいたご家族の皆さま、ありがとうございました。>